

欧州市場での 水素ビジネスの現状と将来展望

2024年

12月13日(金)
16:30-17:30

定員 80名 (定員になり次第受付終了)

申込締切 12月10日(火)

主催 ひょうご・神戸国際ビジネススクエア

お問合せ ひょうご海外ビジネスセンター
TEL : 078-271-8402 mail : info@hyogo-kaigai.jp

参加
無料

スタートアップの実装例から学ぶドイツの水素イノベーション事情 1



山本 知佳

ひょうご国際ビジネス
サポートデスク ドイツ

ドイツにおける環境とエネルギー政策の中で重要な位置を占める水素戦略。その実現の方向性をイノベーションや実証、実装事例を元に学びます。

【講師略歴】

クロスボーダーのオープンイノベーションと日欧間ビジネス開発に精通。多様な業界経験を経て、2020年にベルリンで CROSSBIE 創業、2021年に CROSSBIE JAPAN を設立し、両社 CEO を務める。The Drivery Japan では日本企業の欧州展開支援と欧州スタートアップとのマッチングを主導。モビリティ分野のイノベーション促進と日欧間のビジネス連携を推進し、グローバルなエコシステム形成を目指す。

欧州における水素ビジネスの最新事情 2



丸田 昭輝

株式会社テクノバ
上級首席研究員

今日、水素の先導地域といえば欧州である。2030年の2000万トン/年の水素(派生物含む)の需要創出をめざし、水素製造オークション、多様な支援措置、地域水素展開(水素バレー)などの政策・インセンティブを掲げ、いち早く水素ビジネスの実現に乗り出しています。本講演では、この欧州の政策とビジネス動向を俯瞰し、日本企業のビジネスチャンスについて解説します。

【講師略歴】

1991年より民間コンサルティング企業にて、新材料・蓄電池、燃料電池、EV・FCV関連のプロジェクトを実施。2003年より株式会社テクノバにて主に水素・燃料電池分野の調査や国際連携を担当。水素燃料電池国際パートナーシップ(IPHE)や第2期ミッションイノベーションを通じた水素分野の国際連携の支援も行う。その他に国際水素安全委員会(HySafe)ボードメンバー、IEA「Global Hydrogen Review 2021」レビューワー、高圧ガス製造保安責任者取得。

ライルズ(液化水素レベルセンサー)のモビリティ搭載への挑戦 3



山本 博和

株式会社
山本電機製作所
代表取締役社長

ライルズ(液化水素レベルセンサー)は2014年から8年間、神戸大学武田教授のご指導の下に誕生しました。2023年ブレーメン展示会で大きな反響がありましたが、今後も高いハードルを越える必要があります。世界中のモビリティにライルズを搭載させたい私たちの野望と行政からの支援、神戸の産業クラスターの活動を紹介したいと思います。

【講師略歴】

1965年神戸市出身。明治大学理工学部を卒業後、1996年株式会社山本電機製作所に技術者として入社。2006年代表取締役社長に就任し、現在に至る。兵庫工業会理事、神戸市機械金属工業会理事、神戸エアロネットワーク会長を務める。

申込
方法

ホームページよりお申込み下さい 締切：12/10(火)
【URL】 https://www.hyogo-kaigai.jp/seminar_20241213_germany
お申込みいただいた方に、開催前日までにメールで URL をご案内します



お問い合わせ

ひょうご海外ビジネスセンター
TEL : 078-271-8402 HP <https://www.hyogo-kaigai.jp/>

ご記入いただいた情報は、当セミナー運営・管理のために利用するとともに、ひょうご国際ビジネススクエア(ひょうご海外ビジネスセンター、神戸市海外ビジネスセンター、ジェトロ神戸)及び講師で共有し、適切に取り扱います。セミナーに関する連絡及び必要な事務手続き、御意見や御感想の回答のお願い、メールマガジンでの情報提供等に利用させていただきます。